

論文投稿についての同意書

私は、発坂 卓司 様のご家族に以下の説明をいたしました。

記

故 発坂卓司様は食道癌により死亡されました。

経過中に胃癌に対し内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を施行いたしました。その後、ESD を施行した部位に隆起性病変を認めました。隆起性病変からは食道癌と同様の組織が検出されました。ESD 中ないしは ESD 後に脱落した食道癌細胞が ESD 後潰瘍底へ到達し生着、発育したと考えております。

本現象は医学的に非常に稀であります。本現象は世界中の医療関係者が認知しておくべき現象であり、今後の医療において非常に重要な現象と考えられますので、英語論文として医学雑誌への投稿をさせていただきたく存じます。

生前、本人には治療行為の同意書にて、医学的情報を匿名化し学術的情報として利用させていただく可能性がある旨については説明しており、同意も頂いております。

個人情報とは全て匿名化し、医療行為を行った日時も日単位では明記せず投稿するため、個人が特定される可能性は極めて低く、プライバシーは遵守されますが、特定される可能性は完全に 0%ではない可能性があります。

平成 27 年 9 月 23 日 消化器内科 医師： 浅井 哲

私は、上記の説明を受け、質問の機会も得、納得しましたので論文投稿を許可します。

多根総合病院 病院長 丹羽 英記 殿

平成 27 年 9 月 28 日

患者氏名 (代筆)： 発坂 悟宏 (続柄： 長男)